

ガイドボランティア活動記録 (平成24年)

山本昌生

当園では平成13年3月24日から大温室などの温室植物を中心としたガイドボランティアを導入し、現在（平成24年12月現在）約65名が活動中である。前号（第32号）に続いて、その後の活動や進展について報告する。

導入の経緯については平成13年度栽培記録（第23号）に記している。

ガイド活動は定期ガイドとしてベゴニア温室、大温室などの温室と屋外の花の進化園、ロックガーデンを毎週土・日曜日と祝日に、また、季節に応じてサクラやバラ、ハナショウブ、アジサイなどを案内し、平成24年は18,687人だった。このほかに申込ガイドとして学校の自然体験学習や公民館、老人会、観光ツアー会社などからの依頼に対し平成24年は952人を案内した（表1）。また、8月と12月に開催した夜間開園では夜の植物を案内した。特に8月にはサガリバナ、オオオニバス、ゲッカビジン、ヤコウボクなど夜に開花する（香る）植物などをガイドし、夜の植物の魅力を紹介した。オオオニバス試乗体験会では、オオオニバスの裏側を見せ、トゲの様子や浮力の仕組みを子供達に解説した（写真1）。園内の見頃の植物を案内する「季節の花さんぽ」は毎月第2火曜日と第4土曜日の月2回実施した（表2）。



写真1. オオオニバスの葉の解説風景

●日直の割当

活動日の1時から、情報交換やガイドを行う場所の割り当てのミーティングを行っているが、その担当を日直として、当番表を作成するときに決定している。昨年は、日直を割り当てることは、時間的に非常に厳しかったため、当面、日直なしで当日の当番メンバー内で、誰かがまとめ役を積極的に行うこととした。しかし、決まっていなくて進行がしにくいとの反省もあり、今年から当番制として復活した。

●例会と研修

偶数月にボランティア活動の報告・協議及び研修として植物の学習を行う例会を午前10時から12時まで6回開催し、さらに臨時の例会を1回開催した（表3）。園内の植物や研究への取り組みに関する話題を職員等が約50分間提供した。

表1. 定期ガイド・申込ガイド実績表（平成23年度・平成24年）

年/月	定期ガイド*1										申込ガイド*2		合計	
	日数(日)	温室			屋外				小計	季節の花さんぽ	計	件数		人数
		ベゴニア温室	大温室*3	フクシア温室	花の進化園	ロックガーデン	その他*4							
平成23年 4～12月小計*	85	2,497	4,896	2,310	2,123	1,573	1,082	14,481	309	14,790	23	872	15,662	
平成24年1月	9	217	315	184	105	75	0	896	14	910	1	45	955	
2月	8	312	467	298	108	186	0	1,371	21	1,392	0	0	1,392	
3月	10	351	478	370	208	343	0	1,750	43	1,793	3	133	1,926	
平成23年度合計	112	3,377	6,156	3,162	2,544	2,177	1,082	18,498	387	18,885	27	1,050	19,935	
平成24年4月	10	460	719	381	274	236	117	2,187	50	2,237	2	40	2,277	
5月	10	503	979	542	396	660	195	3,275	51	3,326	3	134	3,460	
6月	9	191	469	189	160	132	329	1,470	42	1,512	2	178	1,690	
7月	10	242	485	318	177	50	8	1,280	28	1,308	2	50	1,358	
8月	7	180	275	152	77	84	0	768	14	782	1	8	790	
9月	11	206	417	327	172	120	330	1,572	39	1,611	2	23	1,634	
10月	9	313	570	268	320	186	93	1,750	36	1,786	1	30	1,816	
11月	9	163	507	207	279	137	0	1,293	22	1,315	6	226	1,541	
12月	9	178	317	115	54	56	355	1,075	14	1,089	4	85	1,174	
平成24年	111	3,316	5,998	3,351	2,330	2,265	1,427	18,687	374	19,061	27	952	20,013	
平成24年度小計	84	2,436	4,738	2,499	1,909	1,661	1,427	14,670	296	14,966	23	774	15,740	

* 平成23年の4～12月の詳細は前号（栽培記録第32号）に記したので省略した。

*1 定期ガイドは土・日の昼間と祝日・夜間開園に実施したガイドとグリーンフェアの平日ガイド（10月8日～16日（4日間4件73人））も含めた。

*2 申込ガイドは団体から申込みがあったガイド。

*3 大温室は熱帯スイレン温室を、フクシア温室はサボテン温室を含む。

*4 その他は、サクラ（桜観賞会（8日間8件54人）を含む）、バラ、ハナショウブ、アジサイなど特定の時期の植物案内と親子植物体験教室、秋のグリーンフェアの平日ガイド、夜間開園ガイドとした。

2月の例会では、山本課長補佐によるランの増殖方法とエビネの組織培養について学習した。役員
の改正時期であり、昨年12月の例会時にこれま
での運営方法について問題が定義されたことか
ら、再度協議した。4月の例会は、総会のため
前年度の活動報告と会計報告、新年度の活動計
画案を審議し了承された。さらに会の運営につ
いて協議した。6月の例会では 鈴峯女子短期大
学元教授 榎井秀雄氏による「広島市植物公園
の万葉植物について」の講演があり、万葉集が
作られた時代背景や植物について学んだ。8月
は栽培・展示課 濱谷主任技師によるアフリカ
南部の植物についての講演があった。10月は会
の運営についてのアンケート結果を基に来期の運
営方法、分担などの業務内容について検討した。
12月の例会では、広島大学名誉教授の佐藤清隆
先生によるチョコレートの科学と題する講演会を
行い、カカオとチョコレートについて詳しい説明
を聞くことができ、大温室のカカオを一緒に見学



写真2. カカオの解説 (広島大学名誉教授 佐藤清隆氏)

して、さらに説明していただいた (写真2)。

園内の研修は5月にバラ、6月にハナショウブの研修を行った。

園外の研修は、ボランティア同士の親睦を兼ねて、6月に高知県の高知県立牧野植物園を訪れ、後藤氏による牧野富太郎生誕150年記念展の案内、稲垣氏による植物案内を受けた。当園とは、異なる施設を見学し、解説を受けることにより当園の状況を客観的に見ることができた (写真3)。

情報提供としてガイドボランティア通信51号を発行し、牧野植物園研修の記録を報告した (表3)。

自主研修用にと会員の遺族から、植物に関する図書の寄贈が多数あり、ガイドボランティア

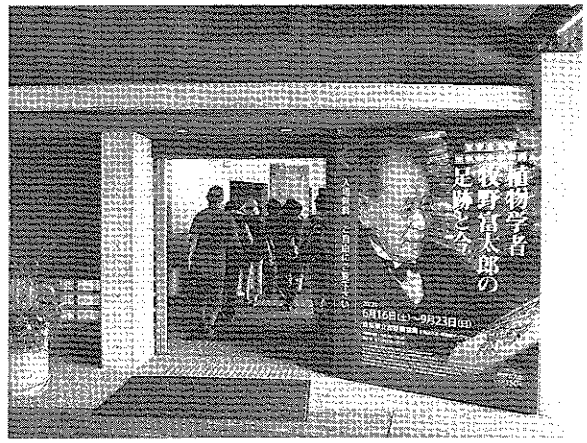


写真3. 牧野植物園の視察

ルームに本人の名を冠した文庫を設置した。

●自主活動

5月4日 (みどりの日)・5日 (こどもの日) と10月の秋のグリーンフェア及び11月3日の植物公園開園記念日にガイドボランティアコーナーを設け、入園者に活動をアピールし、竹ポックリ



写真4. どんぐりの試食コーナー

体験、どんぐりの試食、手作り苔玉・リース販売などを行い好評だった (写真4)。

秋のグリーンフェア2012実行委員会に参加し、各種のイベントに企画段階から協力し、ガイドボランティアコーナーのほかに大温室内に設置されている地上約10mの管理道を参加者に案内するイベントにも協力した。また、平日の入園者増加対策とサービスのため昨年まで行っていた「グリーンガイドツアー」の名称を「季節の花さんぽ」に変更して、園内の見どころを案内した。

親子植物体験教室や広島市内の小学校を対象に、ジュニア・プロジェクトと名付けた子供向けのネイチャーゲームプログラムや植物案内を実施し好評だった。特に今年は多く、学校へは5校・287人へのガイドを行った。

平成19年12月から開始した入り口のインフォメーションコーナーは、ボランティアが撮影した見ごろの花や植物の写真を掲示し、解説している。写真は、随時撮影してストックが増えた。同時に、園内マップと見ごろの植物をA4用紙1枚にまとめた見どころ案内を配布している。

植物多様性保全への協力として植物調査や標本の作製、整理を定期的に行った。

このほかに野生植物の観察会、ガーデニングの勉強会、園芸クラフトの勉強会、ランの植え替え作業、洋ラン展などの展示への協力、ロックガーデンや日本庭園の作業補助などを有志が行っている。

東北大震災への義援金として、公園協会賞の副賞や苔玉販売等による収入を9月と11月に寄付した。

●組織の運営

平成19年度に植物公園主体の運営から、メンバーによる自主運営としガイドボランティアの会を結成した。代表、副代表など役員を選出し、運営を行っていたが、運営方法への考え方の違いや一部の役員への過剰な負担があるなど組織の見直しについて、毎回例会で議論となった。そのため、今後の運営方法について意見募集やアンケートを行い、その結果を基に有志を中心として組織の見直しを検討した。3月に臨時例会を

開催し、いくつかの案を候補とし、投票を行って多数決により運営方法の方向性を決定した。これまでの一部の人による運営では、ほかの会員が運営に参加せず、負担も大きかったという反省があったことから、すべての人に運営に携わる経験をしてもらうことが決定された。具体的には、全体を8班に分け、各班から当番表作成や例会議事録作成など運営に関する作業に携わる人(リーダー)を選出してもらい、そのリーダーたちと植物公園事務局で調整しながら運営することとした。各班から選出されたリーダーは、4ヶ月の任期とし、4月からは、引き継ぎを円滑に行うため、2ヶ月間を引継期間として、新旧のリーダーの期間を重複させる。8人のリーダーの中から事務局との連絡調整を行うため2人を選出する。また、来年度の運営についてアンケートを行ったところ、代表となる人がいないため、園事務局が暫定的に会の運営を行うこととした。しかし、ボランティア自身が自主的に会の運営を行うことが望ましいため、多くの人に運営や作業に関わってもらった後、代表等役員による運営を働きかけていく必要がある。なお、イベント時に行っているどんぐりの試食や苔玉・リース販売などは、従来どおり中心になる人が責任者として、準備や運営を自主的に行うこととした。

●ガイドの更新

ガイド活動への参加を募集時に月2回以上としているが、年に数回しか参加していない人も多く、情報の伝達、知識・マナーの向上が十分できないため、回数が少ない人を除名した。90人いたメンバーは4月の更新時に68人となった。その結果、例会への出席率も向上した。昨年20人の新規会員の加入があったが、急激に人数を増やすことは新しい会員にガイド方法や会の運営方法について指導しにくかったこともあり、活動回数や内容にばらつきがあった。現在の会員数は約65人だが、70~80人までとし、研修効果を高めるため募集人数も10人程度として、意欲があり参加できる熱心な方を選んでいきたい。

●今後の計画及び課題

・組織の運営を各班から選出されたリーダーが、4ヶ月ごとに変更となる。そのため、会の運営や業務の引き継ぎを次のリーダーに行い、会の運営に支障がないよう円滑に行う必要がある。

表2. 季節の花さんぽ実績表(平成24年)

開催日	曜日	観察テーマ(見ごろの植物)	参加者数	担当者
1月28日	土	サボテン温室の植物と早春の草花	14	藤井
2月14日	火	梅園と早春の花木	6	竹内
2月25日	土	樹木の花と早春の花木	15	坂本
3月13日	火	早春の花木とウメ	20	若木
3月24日	土	ツバキ園とサクラ	23	中野
4月10日	火	モクレンと春の花	30	平田
4月28日	土	菊桜と山野草	20	野呂田
5月8日	火	ナンジャモンジャと初夏の花	26	竹内
5月26日	土	花いっぱい春のバラ園めぐり	25	一橋
6月12日	火	ヤマアジサイと初夏の花	17	竹内
6月23日	土	ハナショウブと樹木の花めぐり	25	藤井
7月10日	火	ガクアジサイと夏の山野草	20	藤井
7月28日	土	ヒゴタイと樹木の花	8	藤井
8月25日	土	サギソウと涼しい温室めぐり	14	若宮
9月11日	火	オオモクゲンジと初秋の花	28	原田・藤井
9月22日	土	ヒガンバナと秋の山野草	11	坂本・藤井
10月9日	火	ホトギスと秋の花	36	若宮・藤井
10月27日	土	秋のバラと晩秋の花	11	板東・藤井
11月13日	火	コダチダリアと野菊	9	藤井
11月24日	土	世界三大紅葉樹	13	藤井・若宮
12月11日	火	温かい温室の花と果実	14	中平
合 計			385	

秋のグリーンフェア期間中の10月10・11・12日に昨年(2011年)まで「グリーンガイドツアー」という名称のガイドを今回から「季節の花さんぽ」という名称にしたが、これまでとデータの扱いをそろえるため、定期ガイドのその他に記した。

・研修は、引き続き例会を中心に行うが、職員や外部講師による研修だけでなく、詳しいボランティアによる研修も取り入れ、相互に植物の知識やガイド方法の伝授を行ってもらい、レベルアップを図る。

表3. 例会・研修及びガイドボランティア通信一覧表

開催日	場所	例会及び研修内容	参加者数
平成23年4月～12月小計		(内容は広島市植物公園栽培記録第32号に掲載)	345
平成24年 2月18日(土)	植物公園講堂	例会及び研修 平成24年度の活動計画及び研修計画について(案)の提示、消耗品の執行予定、広島市動植物園・公園協会賞の受賞、会の役員改正の協議など ・学習会「ランの増殖方法とエビネの組織培養」管理課 山本課長 補佐	37
3月14日(火)	植物公園講堂	臨時例会 ガイドボランティアの会の組織と運営方法、代表者等役員の選出方法について候補案を検討及び評決	40
平成23年度合計			422
平成24年 4月21日(土)	植物公園講堂	例会(総会) 総会(平成23年度事業及び会計報告、平成24年度活動計画の承認など)、新年度会員名簿配布、広島市動植物園・公園協会賞の受賞報告など	39
5月8日(土)	植物公園バラ園	バラ研修 「開花期のバラについて学習」講師:栽培・展示課 濱谷修一主任技師	26
6月9日(土)	植物公園ハナショウブ園	ハナショウブ研修 「開花期のハナショウブについて講習」 講師:植物公園植物友の会 会員 三輪 昇	21
6月17日(日)	植物公園講堂	例会及び研修 みどりの日・植物園の日及びこどもの日への行事参加報告、バラ・ハナショウブ研修報告、オオオニバス試乗体験会・親子植物体験教室、夜間開園への協力について、秋のグリーンフェアの内容検討など、学習会「広島市植物公園の万葉植物について」鈴峯女子短期大学元教授 梶井秀雄氏	45
6月22日(日)	高知県高知市	園外研修:高知県立牧野植物園 会員15人+職員4人が参加、後藤学芸員による「牧野富太郎 生誕150年記念展」の解説、稲垣氏による園内の植物案内、バス内で、牧野富太郎に関するクイズや植物に関するクイズ実施。	15
8月19日(土)	植物公園講堂	例会及び研修 親子植物体験教室への協力報告、秋のグリーンフェア及び開園記念日への参加について、新リーダーの紹介と各グループの選出方法の発表、運営方法のアンケート結果発表、会計処理の方法、季節の花さんぽの実施及び駐車場の利用方法など ・学習会「I love southern Africa. アフリカ南部の植物を訪ねて」講師 栽培・展示課 濱谷主任技師 ・ガイドボランティア通信51号「牧野植物園研修に参加して」(小川 洋子・小池時子)	44
10月27日(土)	植物公園講堂	例会 ガイドボランティアの会の運営方法について集中討議、入口案内の方法、資料の印刷方法について提案、秋のグリーンフェア参加報告、開園記念日のイベント計画(お茶会)について検討など、次年度継続条件の提示など	34
12月16日(日)	植物公園講堂	例会及び研修 ・開園記念日への参加報告など、リーダーの業務マニュアル案提示と内容について検討、平成25年度季節の花さんぽの内容検討、平成25年度の活動概要説明、継続確認票用紙配付 ・学習会「チョコレートのサイエンス ～チョコレートのおいしさをさぐる～」と大温室のカカオ観察 広島大学名誉教授 佐藤清隆氏	45
平成24年度(4月～12月)小計			269
平成24年(1～12月)の合計			346